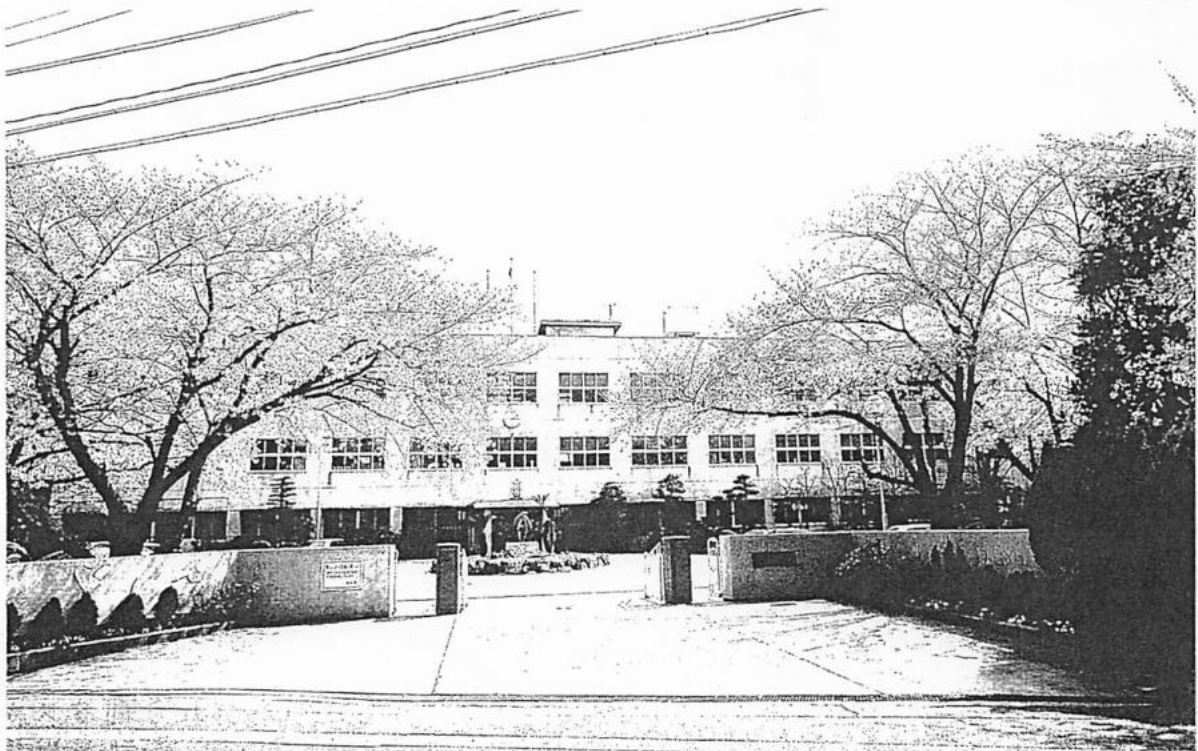


第8号

# 熱田高同窓会報

発行  
愛知県立熱田高等学校  
同窓会事務局  
TEL <052> 652-5858

同窓会ホームページ  
URL: <http://www.atsuta.gr.jp/>



平成十六年四月撮影

## 創立五十周年を終えて

同窓会会長 佐々木 元彦



同窓会員の皆様には、益々ご健勝にご活躍のことと存じます。

また、本年ご卒業され、新たに同窓会に入会されました皆様心からお祝い申し上げます。

戦後の混乱、昭和二十八年、新教育制度のもとで、モデル校として、愛知県立熱田高等学校は誕生し、五十年の歳月を迎える喜びとなりました。この半世紀の間に、会員は二万一千数百名となりました。

平成十四年十一月二十三日、ウェスティンナゴヤキャッスルに於いて創立五十周年記念総会ならびに記念祝賀会を皆様方のご協力とご支援により、盛会のうちに終えることができました。同窓会事業は、歴代校長・恩師・現職の先生方九十余名、会員三百余名のご参加を賜り、総会を終え、祝賀会では、午後のひとときを懐かしい話に楽しく過ごしていただきました。今回は各回生幹事のお骨折りで、同期会も多数開催され、回生によっては百数十名の集いになったとも聞いております。いずれにしても、三々五々恩師の方を囲んでの会も盛りあがりしました。次回の周年事業は、五年後平成十九年の予定になります。

さて、同窓会活動はまさに縦糸と横糸の織り成す関係にあります。縦糸は強く結ばれた部活動や学校行事等における出会い、先輩と後輩の太くて強い絆です。そして、横糸は、三年間築きあつた友情や共に学び汗した同期生同級生の関係です。縦糸と横糸がしっかりと織り成す同窓会の発展に会員の皆様の一層のご理解とご支援をお願い申し上げます。本会の総会は五年毎の開催を予定しております。どうぞ、三十回生以後の若い会員の皆様方、回生の横糸の絆を強めるために、同期会の開催に向けてご尽力くださるようお願い致します。なお、同期会の開催は本会からご援助をしております。

今後、世代を越えての会員とのコミュニケーションをはかるために、会報やホームページも大切と考えておりますが、毎年の会報発刊は、財務運営上支障がでます。現在、会報は寄付金を募つての発刊であります。皆様のご理解とご協力をこの場を借りてお願い致します。

おわりに、皆様のご健勝とご多幸とともに、実りある歳々とならんことを祈つて、ご挨拶ご報告と致します。

平成十六年六月吉日

### 創立五十周年記念実績

- 一、熱田高記念事業への資金援助
- 一、モニュメント作成への資金援助
- 一、五十年誌への資金援助
- 一、会員名簿の作成
- 一、記念総会と記念祝賀会開催

ご挨拶



校長 神野 秀雄

現在二万一千数百名の会員を擁する本校同窓会が、設立以来着実に発展して

さして、平成十四年には、十一月二十一日の創立五十周年記念式典を

同合宿をする予定でいます。この事業を通してサッカー部はもとより他の部活動も、さらには本校全体が活性化し、大きく飛躍するチャンスになり、生徒の視野が大きく広がることを願っています。

とここで、いつの時代、どこでも抱える諸課題が存在します。本校も例外ではありません。それらに対して教職員・生徒がまず一丸となって取り組み、輝かしい歴史と伝統を少しでも発展させ、同窓会や地域社会を始め関係者の皆様から信頼を得るよう努めていかなければと思っております。



熱田・馬山工業高校サッカー交歓試合 (平成14年11月23日)

創立五十周年記念事業を終えて

平成十五年度PTA会長 佐々木 博



熱田高校創立五十周年記念の年を含め、前後三年間、現役PTAとして、又卒業生として、

身近な視点や感慨深い気持ちで、この五十周年の記念すべき大仕事を振り返ってみますと、大成功に導いて頂きました。同窓会の皆様をはじめ、歴代の校長先生・教職員の方々、関係者の方々の、熱田高校への強い強い愛校心を感じざるを得ませんでした。

特に、同窓会では、数年前から周到な準備と打ち合わせを重ね、後輩の現役生徒の諸君に、心に残る素晴らしい事業を実施したいという想いで、がんばってきました。

記念式典・五十年誌発刊・日韓高校サッカー交流試合等を実施し、最後の締めくくりとなる、小櫻先生による、一年余の制作期間を費やしたモニュメントの完成を以って、無事に創立五十周年記念事業を全て終える事ができました。

五十年という節目の次にやってくるのは、新たな明日への出発です。五十年の伝統と歴史を糧に、二十一世紀を担う若人の活躍で、新しい熱田高校の伝統を築いていってほしいと思います。

五十周年記念モニュメント "英素(Ace)"の制作に寄せて

小櫻 謙



創立五十周年を記念する"モニュメント"の制作依頼が私の方にあったのが二〇〇二年(記念式典が行われた年)の夏でした。さっそく、デザインの構想に取り掛かり、いくつかの原形案を考案しました。

設置場所が正面玄関前ロータリーの中央辺りということで囲りの環境との調和と熱田高校の「過去、現在、



正面玄関前のモニュメント

未来を象徴する」をテーマに具象、抽象を取り混ぜて、三種類のデザイン（完成予想図）をつくり、記念事業実行委員会の方に提示しました。その結果、このデザインの石造彫刻に決まりました。

このモニュメントの制作にあたっての「こだわり」の点は、ロータリーに植えてある「蘇鉄」の木との調和を考え、立体構造の変化性の他、本体の大きさ、石材料のもつ材質感や色味などです。

全体の高さ（台座を含めて）は約二メートル、石材は、黒っぽいのがアフリカ産の御影石、赤っぽい球はインド産の赤御影石、台座は韓国産の白御影石とし、これは石材置場の実地で吟味して選びました。モニュメントの形については比較的単純な構造であるのでフォルムの「捻れ」や研磨による表面のグラデーションなど微妙な変化をつけて仕上げました。

このデザインに込められたコンセプトは、「Aster」と「Ace」の頭文字を基本構造としました。Aは人という字に似ています。人は一人だけでなく、それぞれが支え合って生きているものだという形に見えてきます。支えの一方は半世紀にわたる本校の歴史と伝統であり、もう一方は保護者や教職員ということになります。真中の赤い球は、それらに抱かれ育まれる本校の生徒自身を表わしています。この球は、完全な球ではなく、まだ磨き切れていないが「エース」となるべき宝玉であると思います。そんな「想い」を込めて、このモニュメントを彫刻しました。

### 山田 浩先生のこと

平成十六年五月二十日



この四月二十一日、山田浩先生は一年足らずの闘病生活の末、その生涯を閉じられました。病発症後、あまりにも早いご逝去であり、いたく悔やまれてなりません。

山ひろさん（敬愛の気持をこめてこう呼んでいた）に、公私ともに親しくしていただいたのは昭和三十八年以來、四十余年の永きに亘つてのことでした。ともに在職の頃を望月（満月の時）と例えるなら、職を離れてから今日までを「既望の仲」と言えるかもしれません。

熱田高校での山ひろさんは晩年、学制の大変革期にあつて、教務主任、そして教頭先生として優れた手腕を揮ってこられました。その前十年間程は、文化部主任として生徒の文化活動とその啓発に大きくご尽力されたことを特筆しなければなりません。全国稀に見る文化部（校務分掌）の存在は、熱田の教育の大きな特徴でありました。校誌「熱田」の刊行、能楽鑑賞、演劇や管弦楽等の文化行事、熱田賞、文化祭のあり方や指導など、文化活動の方向づけと充実化を目指して真剣に取り組み、指導されました。文化祭の基本姿勢として安全性・計画性・創造性を柱に、文

化部の職員が熱く説いて廻ったのが、つい昨日のことのように思い起こされます。生徒たちもこれに応え、熱田賞や文化部活動等で活発な挑戦を続け、素晴らしい成果も出てまいりました。現在、芸術や古典芸能、文化・学術面で活躍中の卒業生を多く輩出したのも当時の「エコー」ド熱田」の勢いに少なからず刺激を得た結果であろうと、今顧みてそのように思います。

また、保護者との連携で重要な意味を持つPTA広報「熱田」の編集・刊行でも大きな力を発揮されたことを忘れてはならないと思います。

昭和五十五年、ある小学校々歌の創作依頼があり、山ひろさんの作詞でとてもよい歌が出来上がりました。子供の視線に立つて郷土の風景が素朴に、しかも躍動感を伴って描かれ、わらべ唄風の調べと相まって詩情豊かな校歌ができあがりました。以下その一部を抜粋して紹介します。

一、みんなだまわす 縄とびの

輪の中にある 御岳よ

伊吹の山も 遠く見て

元氣いっぱい 手をふれば

未来は空に かがやいて……

二、みんなでうたう 若草の

すなおに伸びる よろこびよ

矢田の流れの はげましに

元氣いっぱい 肩くめば

未来は空に かがやいて……



故 山田 浩先生

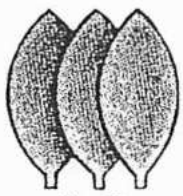
最後に、病床にあつて闘病の姿勢と死への予感を平静に見据えての先生の言葉をお伝えいたします。

崖下の 水引草のくれなるの 深さを尋ね 行かましものを

終生囲碁を愛し、常に相手の気持を察して温かく応じてこられた山ひろさんでしたが、棋山師浩居士と、真に相応しく当を得た戒名を持っています。山田浩先生を慕う多くの方々とともに、心からご冥福をお祈りいたします。

合掌

（既望の友 秦 賢吾）



堂章のみどり、葉を型どった三本の木々に、本校が教育目標とする品格ある人間、気力ある生活人、健康なる日本人を、また、全体にはきよき森を表わして、心の啓示とし、その育成と生々発展とをこい願っている。

# 今、熱田高校では

## 教育課程について

教務主任 加藤 厚子

平成十五年度より改訂された新教育課程も今年度は二年生まで実施され、早二カ月が過ぎようとしています。本校の目指す教育である、(1)教科指導の重視と基礎学力の重視(2)学校行事や生徒会活動等、豊かな文化や自主的な活動の重視(3)生徒の人格(人権)を尊重した指導と自覚的な規律の確立(4)進路についてよく考えさせ、生徒の希望に応じた指導と援助の確立(5)保護者との連携の強化という五本の柱にそって、教育課程委員会・カリキュラム委員会が長年検討されたカリキュラムです。

また、新教育課程では、従来の特別活動に加えて、「総合的な学習の時間」が設定されました。三カ年に三単位実施するものとし、本校では一年生二単位、二年生で、一単位実施しています。内容は、一年生の「総合社会」では、グループ学習による新聞作り、発表等を通して現代的な課題を考察し、「国際理解」では、英語を通して会話、スピーチ・ディ

スカッション等を通してコミュニケーション能力を育成することを目標として展開されています。

今年度から始まった二年生の「平和学習」は、修学旅行で広島へ行くことを機会に、戦争・原爆・平和を扱った資料を通して意見や感想を交流し、平和の大切さを認識することを目指しています。「総合的な学習の時間」を通して従来の各教科等にどまらない、教科の枠を超えた横断的・総合的な学習から、自ら学び自ら考える力などの「生きる力」を育成することを目標として本校では順調に展開されております。

このように、今年度は新教育課程が一・二年生、そして旧教育課程が三年生というカリキュラムで学習活動が展開されています。

今後とも同窓会員の皆様に、本校の教育活動にご理解とご協力をいただけるよう励んでいきたいと思っております。よろしくお願いいたします。



## 熱田高校の本来あるべき進路状況とは

進路主任 有田 淳市

「格」とか「相場」とかいう言葉は本来「進路」というカテゴリーにそぐわない言葉かもしれません。しかし今、あえて本校の進路状況にこの言葉をあてはめて見た時、見えてくるものがあります。一人一人の熱高生の「格」にその進学先はふさわしいのか。熱高入学時の高校入試難易度の「相場」に合った大学の合格状況なのか。そういうことを細かく検証していくと、どうしても納得できないことが多いのです。

例えば、少子化によりすべての中堅大学が易化傾向にあることは間違いないありません。つまり一般入試での合格可能性は毎年毎年高くなっているということなのです。それにもかかわらず、本校では一般推薦やAO入試の受験者が増加し、一般入試でチャレンジする生徒が減ってきているのです。かつて高校生急増期、大学が難化し、(日本経済のバブル期と同時期)0次入試として推薦からチャレンジしようという進路指導がなされたこともありましたが、今はもうそんな推薦の時代ではなく

なったのです。

そんな時代に逆行する進路指導になってしまったことに我々進路指導部は深く反省しております。そして五十周年という「伝統」「格」「相場」に恥じぬよう、今後の進路指導を軌道修正し、熱田高校生らしい行き先、熱田高校にふさわしい進路状況を実現すべく、努力してゆきたいと思っております。

最近5年間の卒業生の進路別実数(現役のみ)

	4年生大学		短期大学		専門学校	就職		家事従事	その他	浪人	合計
	国公立	私立	国公立	私立		公務員	一般企業				
平成15年度	8	158	0	24	60	2	8	8	11	69	348
平成14年度	12	183	0	28	67	1	4	3	14	73	385
平成13年度	20	200	0	32	54	2	7	2	4	69	390
平成12年度	7	161	2	38	55	1	5	1	6	73	349
平成11年度	17	166	2	41	37	0	5	0	2	84	354

## 熱田高校の現状について

生徒指導主事 八木 敬彦

私が熱田高校に赴任してはや十六年、指導主事を任されて九年をむかえようとしています。月日が経つのは本当に早く感じられます。生徒指導についても様々な出来事や事件がありました。その経験を通して、私が思うことについて述べさせてもらいます。

熱田高校の現状は、現在各学年九クラス・生徒数千百名あまり、県下でも多くの生徒をかかえています。十六年前は、各クラスの生徒数・クラス数も今より多く、それを思えば生徒指導面については、生徒個々に対して細部まで目が行き届くようになってきていると思います。そのせいか特別大きな問題を抱えていることはありません。最近は、「あいさつをする生徒」がたいへん増加していると思います。朝の校門指導の際も気持ちよく「おはようございます」とあいさつをしてくれます。また校内ですれちがっても「こんにちは」と気軽に声をかけてくれます。これは日頃からの先生方の指導（学習指導・生徒指導・部活動指導等）の賜であると大変感謝しています。生徒指導の大きな柱である【遅刻防止】についても、遅刻数は、ここ数年急

激に減少しており、生徒の学校にたいする意欲も高まっているように思われます。生徒指導の特別指導も年によって差はありますが、大きな問題も無く推移しています。以上述べたように学校生活は安定した状態が続いています。

ただ最近の若者の傾向でしょうか、「自分さえよければいい」といったような行動がマナー違反としてあらわれ、地域からの苦情となっているのは大変残念なことです。このことは、学校内においても自分勝手な行動にもつながり、それが身だしなみ違反として生徒指導のなかでも問題となっています。熱田高校としての課題は、マナー違反・身だしなみ指導が中心になってくると思いますが、これは日常からの根気強い指導なしでは改善できることはなく、これからも努力していきたいと思えます。

最後になりましたが、本校サッカー部のモットーに「夢は必ず実現する」というものがあります。夢は「こうしたい、ああしたい」という「強い願い」であり、日常から夢見る能力を鍛えて、《夢×計画×行動》の夢の実現」という方程式を実行してこそ達成されると思います。生徒のみなさんには、目標をしっかりと掲げ《夢の実現》に邁進してほしいと心から願います。

## 四十年の歳月

教頭 斎藤 昭宏

本校定時制課程は、昭和四十年に開設され、本年度でちょうど四十年の歳月を重ねます。この間、関係の皆様方のお力添えにより、運動場夜間照明施設の改修、給食室食堂棟竣工、校舎の耐震工事など教育環境の整備がすすめられました。

また、時代の変化とともに変わる生徒の興味、関心、適性、進路等を考慮し、履修する教科・科目及び単位数等もその都度検討が加えられ、生徒の実情に最も適した教育課程の編成に努めています。

部活動は運動部が五部（軟式野球、バドミントン、陸上競技、バスケット、サッカー）、文化部が一部（新聞・旅行研究）で、いずれの部も限



第38回全国高等学校  
定通陸上競技大会  
(国立競技場)

られた時間のなかで熱心に活動しています。特に陸上競技部はこの数年間、毎年全国大会への出場を果たし優勝者を出すなど、輝かしい成績を収めています。

これも常日ごろ、同窓会の皆様方からいただくあたたかい御支援のたまものと感謝いたしております。在校生にとりまして、先輩の皆様方からの励ましは、何にも代えがたい大きな支えとなっております。

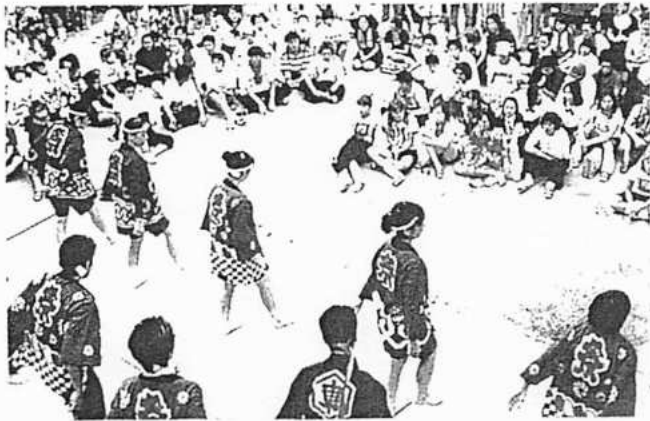
さて、本年度も秋には全校生徒による学校誌「若人」の原稿執筆が予定されています。この学校誌は定時制課程開設三年後の昭和四十三年度に創刊され、平成十五年度には第三十七号が発行されました。生徒・教職員の力により脈々と受け継がれてきたこの学校誌は、本校定時制課程の歴史を語る証人ということができま

す。職員室のロッカーには、創刊号から最新号までが並べられ、どんな時も私たちがじつと見つめていくような気がします。年度末には第三十八号が発行される予定です。皆様方が遺された三十七の足跡の前に、確実に三十八歩目を刻むことができよう、生徒・教職員が一丸となり精一杯頑張ってまいりたいと思いたすので、どうかよろしくお願いいたします。

生徒会からの報告

入試の面接で「なぜ熱田高校を選んだか」という問いに「一番多く返ってくるのが「部活動や行事が盛んだから」という答です。今年も元気な一年生を迎えて、校内はますます活気に溢れています。特にサッカー部、吹奏楽部は、今年も百名を超す大所帯です。元気な部の部員達が、学校行事においても、クラスやブロックのリーダーとして活躍してくれているのも嬉しいことです。

総体予選では、本年度はサッカー・陸上・女子バスケット・男子



文化祭の一コマ

硬式テニス部が、県大会に出場しました。サッカー部は、刈谷高校を延長戦で破り、県ベスト8に進出しましたが、次に東邦高校を破って勝ち上がって来た愛産大三河高校と対戦し、PK戦で本当に惜しいところで敗れました。連続して全国レベルの大会に県選抜選手として出場している陸上部は、今年は部員数も増え、13名が県大会出場という快挙で、うち1名は東海大会への出場を決めま



サッカー部

した。この他、女子バスケット・男子硬式テニス部も県ベスト16入りを果たし、諸条件に恵まれている私学に混じり、公立高校としては、よく奮闘していると思います。

今年耐震工事の関係で体育館が夏休みから二学期いっぱい使用できないという厳しい状況ですが、何とか工夫してやりくりして、部活動も学校祭も例年並みのことはやり抜きたいと考えています。

本年の学校祭一般公開日は、9月11日(土)ですので、同窓生の皆様もぜひ誘い合わせてご来校下さい。卒業生受付で名簿を確認して入場し



吹奏楽部

ていただけます。今の高校生達は、音楽や踊り・パフォーマンスについては、大変優れた能力を持っており、しっかり楽しませてくれることでしょう。

現代社会を生き抜くためには、単に知識を身につけるだけでなく、自主的に考え行動する力や、人との関わりの中で自分を生かしてゆく力が不可欠だと思います。熱高生が、高校三年間、部活動や行事に取り組む中で、それらの力を確実に育てていることは、今も昔も変わりありません。

生徒会主任 近藤 早苗



体育祭(応援)

創立五十周年記念

平成十四年十一月二十三日(祝)

午後二時、ウエスティンナゴヤ キャッスル二階天守の間を会場として、参加教職員九十名・会員三百八十名が一同に会し、第一部、同窓会総会を三回生岩渕正憲副会長の司会で式次第に従って、会長式辞・ご来賓の祝辞・記念事業目録の贈呈等々予定通り進行、さらに同窓会の報告・審議事項と勧め終了。二部は、三時から祝賀会に移り、第四代日比野文一校長の乾杯の音頭でにぎやか



になごやかに宴が進み、秦賢吾先生の音頭で校歌を歌い、万歳三唱、次回(五年後)の再会を約して終了。その後、各回生主催による同期会が催されました。式典の前では四回生、祝賀会の後には、十五の同期会が開催されました。この総会・祝賀会を開催するにあたり、約一ヶ年の準備期間を設け、実行委員会を組織して準備をしてまいりました。この間多くの皆様方の献身的なご尽力をただけましたことをご報告します。会員名簿づくりは大変な作業で困難を極めました。前回の発刊と同じ、廣済堂名古屋営業所長瀧澤氏のご協力によって前回の発刊より充実した内容になって、精度も上がりました。次回の発刊は五年後の予定です。しかし、「個人情報」をより一層大切に

とり扱う時代になっていることと思



います。会員名簿の発刊については、皆様方のご意見をお尋ねしなければならぬかもしれません。事務局からのお願いです。会員名簿は卒業生の購入以外に一切の販売はしておりません。また、名簿の扱いは、

事務局としても慎重に扱っており。どうぞ、発刊名簿が悪用されたり転用されたりすることの無いように、この紙面をお借りしてお願い申し上げます。(事務局より)

同窓会役員

(平成16年4月1日より)

- 会長 1 彦朗 2 孝憲 3 弘幸 4 雄治 5 夫世 6 幸一 7 城博 8 彦秀 9 博進 10 定一 11 子男 12 廣一 13 周夫 14 雅夫 15 雅夫 16 雅夫 17 雅夫 18 雅夫 19 雅夫 20 雅夫 21 雅夫 22 雅夫 23 雅夫 24 雅夫 25 雅夫
副会長 木下 出野 岩田 豊秋 伊万 小井 武杉 谷今 真木 石伊 柿山 山木 佐板 安永 宮内 山小 丹江 小高 西谷 近藤 野山 青木 浅野 藤野 近藤 川野
書記 山木 倉美 美美
監査 山木 倉美 美美
学校幹事 山木 倉美 美美

同窓会総会・創立50周年記念 収支決算報告

Table with 2 columns: [収入の部] and [支出の部]. Rows include items like '寄付(記念募金)', '熱田高校周年事業援助金', and their respective amounts in Japanese Yen.

平成16年3月31日 上記のとおり、周年行事の会計報告をします。 会計代表 江村 雅夫 監査代表 神谷 和雄

創立五十周年記念行事

一・記念講演

「ニュースキャスターという仕事」

第十八回卒業生 渡辺宜嗣氏



二月十九日、名古屋市中村区生まれ。熱田高校時代は、ハンドボール部で活躍。明治大学商学部卒業

後、テレビ朝日に入社。「大相撲ダイジェスト」「ゴルフ中継」の実況・司会、「トゥナイト」、「ニュースステーション」でのリポーター、「ステーションEYE」での司会等を担当した後、現在は「スーパーモーニング」と「朝まで生テレビ」の司会者として活躍中。「人間味あふれるキャスターを目指す」が現在の目標。自他ともに認める熱狂的ドラゴンズファン。

二・記念事業

大韓民国馬山工業高校サッカー部との交歓試合  
平成14年11月21日(木)～11月24日(日)

馬山工業高校サッカー部の最近の戦績

- 2000年5月 第38回 釜山MBC全国蹴球大会 優勝
- 2001年4月 第30回 全国高校蹴球大会 優勝
- 2001年5月 第6回 全国中・高蹴球大会 優勝

ただいま活躍中

「がんばれ熱田高校生」

十五回生 星城大学 学長補佐 石田 直城  
同窓会報への掲載依頼に、すつと

高校時代を振り返りました。高校を卒業して三十数年もたったのかと今更ながら、月日の早いことを感じ、たまたま、現在、教育に携わる仕事をしていきますので、熱高生に、「もつとがんばれ」と声援を送りたいと思います。

熱田高校も変わったといろいろな方からお聞きします。良くも悪くも時代の流れの中で動いていくわけで、公立学校の入試制度の変化や絶対評価への変更、周囲の環境などさまざまな要因があると思います。日本全体の基礎要件、ここ数十年の生活、技術や文化も大きな変貌を遂げ、時間距離はますます伸び、時間やサービステータスに対する価値はさらに重要な要素となり、また、マスメディアの情報により早く、より広域にながれ、その影響度は段違いになってきています。さらに、経済の成長とともに拝金主義がもてはやされ、競争社会が進んで、結果が求められる時代に



(中国の学校との提携 左が石田直城さん)

なってきたかと思えます。

よく若者に目的意識がないとか言われますが、そう昔と変わっていないと思います。昔は情報が少なく、世襲など選択肢がはつきりしていて、一定の枠が決められていたように思えます。私が勤務する星城大学の学生を見てみると、いろいろな学生がおり、学生会の会長は女性であったり、旅行会社を作りたいと相談があったり、授業の講義中にブラインドタッチでパソコンでノートをとっていたり、すごいというか、積極的にかんがばっている学生を数多く見かけます。また、TVなどで、世界の色々な所で活躍している日本の若い人のニュースを聞くと、頼もしさを感じます。NHKテレビで「プロジェクトX」が放送されていますが、それを見ると戦後復興、団塊の世代のエネルギーとノスタルジアを感じます。現代の若者もそれに劣らず個々の能力で、いろいろなところで活躍しているのではないかと感じます。これからの熱田高生には、そんな厳しい環境の中、たくましく生きるエネルギーをどんどん蓄積していつてほしいのです。それにはどんなことにも、ポジティブに、積極的なものを見て行動していくことだと思います。現代を生き抜いていくことは大変ですが、同時にやりがいのある時代でもあります。一人一人が自分を磨き、他に感謝する気持ちを忘れずに前向きにかんがばってもらいたいと思います。

事務局便り

会員名簿・五十年誌ご希望の方へ

会員名簿約百冊程・五十年誌三十冊の残部があります。購入費用は、現金書留で名簿五千円・五十年誌三千円(送料込み)です。ご希望の方、事務局へお申し込みください。  
☎四五六一〇〇五四  
名古屋市熱田区千年一十七七一  
愛知県立熱田高等学校同窓会事務局宛

会報基金のお願い

前回、会報基金の募金をお願いしました。応募金額は、一、七二四、〇〇〇円でした。全会員配布の費用は、約三百万円程かかります。同封の郵便振替用紙で、一口二千円でご応募くださるようお願い致します。郵便振替口座

名古屋〇〇八三〇一八一八五二二一  
愛知県立熱田高等学校同窓会  
題字 初代書道教諭 名郷柴山先生

訃報

- 沢田 明先生 平11・11・14
  - 名郷柴山先生 平12・4・17
  - 黒崎 勝先生 平13・10・22
  - 山田 浩先生 平16・4・23
  - 二回 田中敬二副会長 平12・5・26
  - 定六 大沢利尋副会長 平14・11・29
- ご逝去に接し、謹んでご冥福をお祈り申し上げますと共に、お知らせいたします。  
(係より)

クラス幹事の皆様へ  
訃報は悲しい出来事ですが、事務局まで葉書でご連絡ください。